

広報

沼津

<http://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

12月1日号

2015年(平成27年)
No.1519



防災備蓄品を点検する消防職員



沼津市公式 Facebook
「Numazu Topics！」

イベント情報や四季の風景などを発信中！



特集 いつ来るかわからない「その時」のために
防災のススメ

【主なお知らせ】

写真で振り返る 沼津 2015	6
沼津が誇る熟練の技 平成 27 年度 沼津市技能功労者をご紹介	8
市民カレンダー掲載写真募集	9
一人で悩まず相談を！生活困窮者の自立を支援します	10



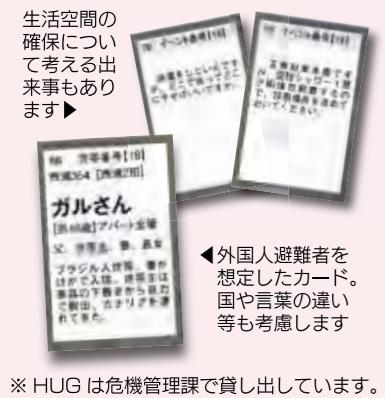
沼津市防災指導委員会会長
第五西地区連合自治会
防災指導員
鈴木 茂さん

意外と知らない！ 地域 の防災

市内の各連合自治会には、防災指導員と呼ばれる、市が委嘱する防災のスペシャリストがあります。防災指導員で構成する、防災指導委員会の会長で、第五西地区連合自治会の鈴木さんにお話を伺いました。

——自分としておいた方が良いことは
非常食等の備蓄をすることと、少し揺れただけでも「地震だ！」等と声を出すことを習慣にしておくと良いですね。声を出すことでショック状態に陥らず、逃げる動作ができるし、周囲の行動意識も呼び起させられます。

防災指導員は、心強い地域の防災リーダーです。リーダーとともに地域防災力を高めていきましょう。では、次に、地域の防災倉庫や備えについて見ていきましょう。



※ HUGは危機管理課で貸し出しています。



それぞれの事情を踏まえ、真剣に配置を考えます

このように学校の授業でも、防災について考える取り組みが根付いています。

防災指導員は、心強い地域の防災リーダーです。リーダーとともに地域防災力を高めていきましょう。では、次に、地域の防災倉庫や備えについて見ていきましょう。

第五西地区連合自治会では、独自の防災倉庫を設置し、購入した資機材を配備しています。しかし、災害時に操作できる人がいなくては、せっかくの準備も無駄になってしまいます。自分の地域の防災倉庫に入っている物を知り、多くの人がそれを使えるようになってもらいたいですね。

——地域で知つて欲しいことは
防災指導員は、市からの防災情報を自治会へ伝えるパイプ役になつており、地域の防災訓練の指導も行っています。指導する立場としての知識を得るために、HUG(ハグ)を使った学習会や、首都圏の防災フェアに参加し、自らの防災力を高め、地域防災の向上に努めています。

防災指導員は、市からの防災情報を自治会へ伝えるパイプ役になつており、地域の防災訓練の指導も行っています。指導する立場としての知識を得るために、HUG(ハグ)を使った学習会や、首都圏の防災フェアに参加し、自らの防災力を高め、地域防災の向上に努めています。

**H避難所
inanzyo
運営
nei
ゲーム
Game**

授業の教材として

11月6日、愛鷹中学校の3年生、23人の生徒が授業でHUGを体験しました。グループで考え、けが人や妊婦、外国人などを体育館に配置していく。避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくか模擬体験するゲームです。



問 危機管理課

00550・034・4803

悲観的に準備して、楽観的に生きよう。
これは「最悪の事態を想定して災害に備え、できるだけの備えはしたのだから、後は心配せず気楽に生きよう」という意味で、沼津市の防災アドバイザー・山村武彦さんの言葉です。10月17日に市で開催した防災の講演会は満員。災害に対して、市民の皆さん意識の高さがうかがえます。
しかし、もし今、災害が起きた場合、あなたは最寄りの避難所がわかれますか？
家族が一週間過ごせるだけの備蓄はありますか？
携帯電話はほぼ通じなくなりますが、その時の連絡手段は決めてありますか？
12月6日は地域防災の日です。この機会に、防災のヒントを得て、あなたができる対策や行動につなげていきましょう。

いつ来るかわからない「その時」のために

防災のススメ



特集 いつ来るかわからない「その時」のために 防災のススメ



オススメの備蓄方法や、便利な防災ツール等についてご紹介！

自分と、自分以外の人も守れるように、日々の備えを充実させましょう！

食品備蓄の心得

備蓄すべき食糧の量的目安は1週間です。冷蔵庫に備蓄している食品やインスタントラーメン、米、乾物などで4日間をしのぎ、残り3日間を備蓄した非常食で乗り切りましょう。飲料水は一人当たり1日3リットル、最低3日分が目安です。

非常持ち出し品の例

飲料水、非常食、携帯ラジオ、懐中電灯、乾電池、笛、ライター、下着、雨具等。詳しくは、市ホームページをご覧下さい。[広報ぬまづ](#) [検索](#)

危機管理情報・同報無線情報メール

市が把握する危機管理・同報無線情報を配信。



▲メール登録

▲ツイッター登録

沼津市緊急情報ツイッター

地震や風水害等の災害情報や緊急情報の速報等を発信。

災害アプリ

市では、7月に無料災害アプリ「災害時ナビ」、「みたチョ」を導入しました。カメラ機能を使い、外の風景に合わせて避難所の方向を示し、ルートを案内します。ネットを使用しなくても地図情報が取得できるので一斉に使っても回線がパンクしません。



災害用伝言ダイヤル(171)

電話がつながりにくくなる災害時に設置され、伝言を登録できます。毎月1日と15日に体験利用が可能です。

エフエムぬまづ (FM ラジオ 76.7MHz)

災害時、被災当初の給水・炊き出し等の救援情報等から、地域の復興情報や住民を元気づける情報へとシフトし、被災された人に役立つ情報をラジオで放送します。

備える 情報

倒壊や落下の防止

ブロック塀や看板、瓦など、倒れたり、落ちてくる恐れのあるものは、事前に固定したり、撤去や改善を行いましょう。

住宅の耐震化

強度が不安な住宅は耐震化を検討しましょう。



家具の固定

最近では壁に固定するだけでなく、家具の下に転倒防止シートを貼るタイプや、天井とつっぱり棒で固定するものもあります。自宅の家具に合った方法で固定しましょう。

ガラスの飛散防止

ガラス飛散防止フィルムを貼っておけば、割れたガラスで負傷することもありません。



大事なのは、自分に何が足りていないのかに気づき、無理しない程度に備えを進めていくことです。最寄りの避難所がわからなければ、災害アプリや避難所案内図で事前に場所を確認しておく。



大事なのは 無理しない程度に 防災を意識すること

地域 防災無線

どれほどの被害が出ているのか、けが人や救助の要請など、本部と連絡を取るのに使用します



飲料水ではない水をろ過し、飲めるようにします



チェーンソー

倒壊家屋から救助する際に使用します



小型ガス発電機

平成25年度から導入された家庭用カセットボンベを利用する発電機。軽く、女性でも持ち運びができる、簡単に操作できます



可搬ポンプ

しかし、この中に避難所生活者用の大量の非常食や、避難生活用品はありません

火災などが起こった際、消火用にプールなどから水を給水するのに使用します

非常食はクラッカーやシチュー、牛肉とマカロニのチリソース煮などがあり、その賞味期限は25年です。毎年新しい物を買はないと、賞味期限が近いものは防災イベント等の非常食で消費し、期限切れのものがないようにしています。



静浦地区センター内の備蓄倉庫

防災倉庫

つて

何が入ってるの？

質問！

市では、避難所生活者の非常食や避難生活用品を、市内にある備蓄倉庫や学校の空き教室等に分散備蓄しており、発災後の状況に応じて移送します。

では

多くの非常食はどこに？

このように、地域には防災の取り組みや備えがありますが、実際に災害が起こった場合には、人命救助が最も優先になります。

長野県白馬村は、昨年11月、震度5強の地震に襲われました。しかし、死者は一人もおらず「白馬の奇跡」と呼ばれています。

多くの家屋が全半壊したのに、なぜ、死者が出なかつたのでしょうか。それは、地域の連絡体制がしっかりと立てられ、近隣住民が声を掛け合い、家の下敷きになつた人を協力していち早く助けたからです。

前述の、市防災アドバイザー・山村さんは、これを「近助の精神」と呼びます。普段から「近所付き合いを大切にしている村だからこそ、この奇跡は起きました。

日頃から、地域・隣近所で助け合う「互近助付き合い」を大切にし、災害時も互いに協力し合える、そんな地域の輪を広げていきましょう。

この「近助の精神」ともう一つ、防災に欠かせない大切な心構えがあります。それは「自分の身の安全を確保する」ということです。

次は、自分でできる災害対策について確認していきましょう。

この「近助の精神」ともう一つ、防災に欠かせない大切な心構えがあります。それは「自分の身の安全を確保する」ということです。

次は、自分でできる災害対策について確認していきましょう。

助け合いの精神

写真で振り返る沼津

2

0

1

5



9月14日 アスルクラロ沼津に中山雅史選手加入

10月23日～
11月26日
市長と語る会

市民の皆さんとの意見交換会を開催しました。



6月28日
燐々ぬまづクーポン(プレミアム付き商品券)販売



地域経済の活性化や地元消費の拡大を目的に、プレミアム付き商品券が販売され、購入するために長蛇の列ができました。

5月24日
長浜城跡史跡公園オープン記念「長浜城北条水軍まつり」



国指定史跡となっている長浜城跡史跡公園のオープンを記念し、火縄銃演武や甲冑隊による鬨の声の披露等が行われました。

4月1日
沼津市オリジナル婚姻届ダウンロードサービス開始



市内在住のイラストレーター田村映二さんのデザインや、市職員による沼津の見どころをデザインした15種類の市オリジナル婚姻届を作成し、お二人の門出に花を添えます。

4月1日 くるら戸田開館



沼津市との合併10周年を迎えた戸田地区に、地域活性化センターがオープン。市民窓口事務所や地区センター等、住民が利用する場だけでなく、沼津市初の道の駅に登録され、観光の拠点として地元と観光客の交流が期待されます。

7月3日
公認婚活サポーター「縁結び隊」認定



「縁結び隊」は、結婚を希望する人を支援するため、男女の出会いの相談や仲介等を行います。市では、更に沼津の出逢い応援課を立ち上げ、結婚・婚活に関する情報の発信や、婚活イベント等を開催しています。

8月1日～31日
チームラボアイランド -学ぶ! 未来の遊園地- 静岡県東部初上陸!



お絵かき水族館

最新デジタル技術を使ったアート空間の中で、子どもたちは想像力を働かせて楽しめました。開催期間中には、市内外から3万人以上が訪問しました。



10月31日～11月15日
沼津御用邸記念公園松籟の宴

高校生が和の装いで、おもてなしの心をこめた観光案内を行いました。

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
20日	7日	1日	31日	29日	25日	23日	18日	17日	18日	10日	1日
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
沼津農林まつり	よさこい東海道(～8日)	NUMAZU BARTAXI 運行開始	沼津御用邸記念公園松籟の宴(～11月15日)	沼津市公式訪問団が中国岳陽市を訪問(～11月22日)	「自慢のコレ」高校生×企業コラボ甲子園	市防災アドバイザー・山村武彦さんによる防災講座	白隱禅画墨蹟名品100選	アスルクラロ沼津に中山雅史選手加入	チームラボアイランド静岡県東部初上陸(～31日)	沼津自慢フェスタ(～12日)	燐々ぬまづ(～27日)
しづおか市町対抗駅伝											
成入式(4月戸田)・新成人議会											
消防出初式											
平成27年我入道の渡し船運航開始											
(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシーとパートナーシップ協定を締結											
沼津ハイスクールフェスティバル											
広報ぬまづ150号発行											
ぬまづ工コ活動コンテスト											
内浦地区センターオープン											
ぬまづ工コ活動コンテスト											
消防出初式											
成入式(4月戸田)・新成人議会											

2015年の主な出来事

お知らせ

ごみのない暮らしを目指しましよう

◆エクスチェンジ Xchange(子ども服交換会)

お子さんが成長して着られなくなった服を、今必要としている人へメッセージを付けて交換する催しです。

とき 12月20日(日)、10時~14時30分
ところ サンウェルぬまづ可動間仕切り会議室
※当日、直接会場へどうぞ。

◆参加方法

- ①当日交換したい服(120cmまで)を持参して、窓口で持ち込む点数を申告
- ②出品する服に、服の思い出や貢い手へのメッセージを書いたエピソードタグを付ける(タグは会場用意してあります)
- ③受け付け後、会場内にあるハンガーラック等に掛けてディスプレイ



④1点の持ち込みにつき、気に入ったものを1点持ち帰る

⑤窓口で持ち帰る点数を申告

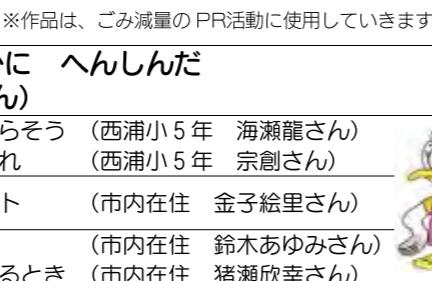
※持ち込む服は、洗濯済みで汚れ・傷みのないものに限ります。エコパックを持参して下さい。転売目的の参加はご遠慮下さい。



クリスマスに買った思い出の服です

◆ごみの減量標語の入賞作品が決定！

小学生の部金賞	最優秀賞	・ごみがでた これはなにかに へんしんだ (千本小4年 加藤萌咲さん)
小学生の部銀賞		・食材を むだなく食べて ごみへらそう (西浦小5年 海瀬龍さん) ・古い物 直せば使える よみがえれ (西浦小5年 宗創さん)
一般の部金賞		・前向きに ゴミも私も ダイエット (市内在住 金子絵里さん)
一般の部銀賞		・生ごみも 肥料になるよ 大切に (市内在住 鈴木あゆみさん) ・考えて！ モノを買うとき 捨てるとき (市内在住 猪瀬欣幸さん)



※作品は、ごみ減量のPR活動に使用していきます。

④ごみ対策推進課
☎055-934-4743

recruitment
募集

市民力レンダー
掲載写真募集

ぬまづの宝100選を中心に沼津の魅力を表現した写真を募集します。入選作品は平成28年度版市民カレンダーに使用します。



テーマ ぬまづの宝100選を中心とした「沼津の魅力」

応募期限 平成28年1月22日金(必着)

応募規定 横位置のカラープリントで四つ切サイズまたはA4サイズ

応募方法 下記のいずれかの方法で応募して下さい
①市役所2階広報広聴課、市ホームページにある応募用紙に必要事項を明記し、写真の裏面に貼り付けて直接または郵送

②応募用紙の内容を明記し、写真データ(JPEG形式、10MB以内)を添付して電子メールで(1通につき1枚の応募です)

※応募作品の中から13点を選出し、平成28年度版市民カレンダーで使用します。

また、優秀な作品については、写真展やSNS等で使用することがあります。

※自作で未発表のもので、撮影地は沼津市内に限ります。被写体の肖像権等には十分注意し、応募者の責任で全ての問題を解決したうえで応募して下さい。

※応募作品は返却しません。

※入選者(13人)には賞品を、応募者には記念品を贈呈します。

※詳細は、市ホームページまたは応募用紙をご覧下さい。

④広報広聴課 ☎ 410-8601 沼津市役所

電子メールアドレス kouhou-photo@city.numazu.lg.jp



④広報広聴課
☎055-934-4703



丹羽律子さん(家具職)
お客様に喜んでもらえるときにやりがいを感じます

杉本昌之さん(建具職)
良いものを作るため材料にもこだわっています

受賞者の皆さん
敬称略(従事年数・住所)

渡邊基英	クリエーニング職	高石雅昭	生野正弘	山植勝	上松秀夫	植松昌之	坂井廣文	平林	整備士	土屋俊雄	建築板金職	左官筒井	建築大工
(52年・下河原街出口)		(53年・青野)	(46年・東原)	(44年・八幡町)	(46年・新沢田町)	(37年・新沢田町)	(46年・大岡)						

市では、1つの職業に30年以上従事し、功績顕著な55歳以上の職人の皆さんを、技能労者として表彰しています。
今年度は、家具職やバーテンダー職など35人が受賞されましたのでご紹介します。



お知らせ

沼津が誇る熟練の技

平成27年度

沼津市技能労働者をご紹介

坂部良利	小松伸	水産物加工職	片野浩一	吉野元	石崎新	鉄工	立川	杉山山本	調理師	製菓技術師	家具職	鍼灸マッサージ師	美容師	久保田吉田
(45年・上香貫三貫地)	(41年・下香貫島郷)		(34年・大岡)	(30年・大塚)	(34年・鳥谷)		(57年・大手町)	(48年・新宿町)	浩道	律子	敏彦	君子	とし江	(51年・下香貫塚田)



受賞者の皆さん、

おめでとうございます。



井上修宏さん(洋服裁縫師)
今でも毎日が洋服の勉強です



山城節夫さん(バーテンダー職)
自分を磨き、技術を磨いてやってきました

佐野崇男	山城伸明	食肉技術職	バーテンダー職
(50年・春日町)	(45年・大岡)	(50年・今沢)	(50年・我入道南条寺)

広報ぬまづ 2015.12.1 号

ぬまづの宝 めぐり選百選

第四十四回 太宰治ゆかりの宿

安田屋旅館松棟・月棟

駿河湾奥部の内浦三津に明治22年に創業した安田屋旅館。大正7年昭和6年にそれぞれ建築された松棟と月棟は、平成12年に国の登録有形文化財となつた純和風の建築物です。

松棟「月見草の間」から望む淡島と富士山



3つ連なる瓦屋根が特徴の安田屋旅館。手前2つの客室が松棟、奥が月棟。

この松棟2階の客室「月見草の間」は、作家・太宰治が、昭和22年2月から約半月程滞在し、名作「斜陽」の第1章・2章を執筆した部屋として知られています。現在も宿泊ができるこの客室は当時の趣をそのまま残し、手前に三津浜、奥に淡島と富士山を望むことができます。太宰治ゆかりの宿として多くの太宰ファンが訪れています。

—作家・太宰治と沼津—

太宰治と沼津の関係は、安田屋旅館で「斜陽」を執筆する前より古く、昭和7年に始まります。東京帝国大学在学中に心身を癒すために、最初の妻・初代と共に志下に1ヶ月滞在し、処女作と言われる「思ひ出」を執筆したのです。沼津で執筆したこの作品によつて、太宰治は文壇の第一歩を踏み出しましたと言われています。

参考文献「沼津文学紀行」鈴木邦彦著



1 松棟2階「月見草の間」
2 「斜陽」を記念し、その一節が記された文学碑
3 松棟2階へと続く大正時代から残るらせん階段

▶安田屋旅館 ④内浦三津 19 ☎ 055-943-2121

広報沼津

2015年12月1日号 No.1519 発行部数/83,400部 沼津市役所 ☎ 055-931-2500(代)
〒410-8601 沼津市役所 広報広聴課 TEL / 055-934-4703 FAX / 055-935-1560
電子メール kouhou@city.numazu.lg.jp 市政テレホンサービス TEL / 055-932-1000
ホームページアドレス <http://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

この広報紙は、再生紙を使用しています。印刷／株耕文社



「松」



「浜木綿」